

熊本県立
1995.9
大学学報

第5号

春

秋

shunjūsai

彩



春秋彩とは

「万葉集」の額田王の春秋を論じた歌の詞書「春山の万花の艶と秋山の千葉の彩」から採ったもの。

「春秋」には年月の意味もあり、「春秋に富む」若者を彩る学園の四季を表している。



8月15日みたび

熊本県立大学長 手島 孝

半世紀前の8月15日。私は筑後川畔の片田舎にいました。旧制中学の1年生。上級生は工場動員、私たちも勤労奉仕や軍事教練に明け暮れ、夏休みなどなく、あの日も登校していました。午後、日本が負けて戦争は終わったというニュースが口づつて校内を駆けめぐり、呆然、これからどうなるのかと暗澹たる思いで夏空を仰いだことでした。あの日は暑かった。

四半世紀前（正確には26年前）の

8月15日。私は大学の教授になっていました。折から全世界的に学生叛乱の季節。私がいた大学も彼らに占拠され、教授は学内に立ち入れません。バリケードを乗り越えて、殺気だつ彼らと激論（鬭論という造語も当時ありましたが）した、あの日も暑かった。

そして今年の8月15日。私は当地で故山本昌央先生（本学文学部）の葬儀に列していました。専門的教育心理学を身を挺して実践する活動の一環だつ

た障害児童のための親子サマーキャンプのさ中に急逝されたのです。お世話になったたくさんの人たちで斎場は深い悲しみに包まれました。

山本先生、享年50歳。この日も暑かった。



学長 手島 孝

秋空は、見上げる者の心を映す鏡。 あなたと大学の素敵な姿を見つけましょう。

福島知事本学で講義

～特別講義「これからの地方自治」

平成7年6月27日（火）に行われた福島知事による特別講義は、会場となった大講義棟1F大講義室を埋めた学生と関係者の中、「これからの地方自治」という講義内容で開講された。この特別講義は、県立大学総合管理学部の講義科目である「地方自治論」「パブリック・アドミ

ニストレーション（公共行政）」の特別講義として総合管理学部の学生を対象に行われたもので、47年間に及ぶ行政官、代議士、知事という幅広い経験から、「知識ではなく理解する力、感動する心を養うことが大切である」と語り、講義は予定の90分を20分も上回る

ほど熱を帯びていた。講義後の感想を聞いてみると「地方自治のこれからの例を出しながら説明してもらい、ためになった」（総合管理学科・藪田さん）と好評であった。

後援会海外留学・研修助成金交付

熊本県立大学後援会では今年より国際交流の推進を目的として、本学学生が海外で留学または研修をする場合に、全体総額50万円の予算内で助成金を交

付することとなった。募集した結果、指定期限内に10人の応募があり7月10日（月）に本学事務局長室にて國津英愛後援会常任評議員事務局長兼務から全員に一律5万円の助成金が交付された。今年の応募者は、英語英米文学科9人、

総合管理学科1人で、英会話学習のため米・加・英へ留学（研修）する学生がほとんどであった。

なお、予算額は未定であるが同助成金は今後も毎年交付される予定である。

就職活動中の4年生へ

9月に入り、就職活動も終盤戦を迎えている。試験を受けて合格の電話を一日中待つ。何度経験しても嫌な時間。結局電話はこなかった…。

こんなことが重なると、自分の人間性に問題があるのではないか、自分は社会で必要とされていないのではないかと自分を疑いたくなる。そう思いたくなるほど厳しいのだ。これと似たような思いをした人がいることでしょう。しかし、

このときに「もうだめだ」と諦めるか、「まだこれからだ」と気を取り直すか。

想像してみてください。もし、今あなたが広大な砂漠のど真ん中を1人ぼつんと歩いていたら。周りには何もなくて、あるのは灼熱の太陽と熱く焼けた砂だけ。先はまだ見えない。水筒いっぱいに入れておいた水も半分まで減っている。その水を見てあなたは、「もう半分しかない」と思うか、「まだ半分もあるじゃないか」

と思うか。前者はマイナス志向、後者はプラス志向。

厳しい状況におかれているあなた、今あなたに必要なのは「まだ半分もあるじゃないか」と思うプラス志向かもしれません。どうでもいいやと諦めず、焦らずあくまでプラス志向。自分を信じて頑張ってください。健闘を祈ります。

国際交流イベント報告

姉妹交流 祥明女子大短期学生研修団来学

本学は、熊本県と韓国の忠清南道との姉妹交流をきっかけに平成元年10月に韓国・祥明女子大と姉妹大学提携を結んだ。以来、様々な交流を続けて今年で6年目を迎える。

本年は6回目の短期研修団13人が、引率教員の韓(ハン)先生とともに6月24日(土)から7月3日(月)までの10日間の日程で本学を訪れ、本学学生宅を中心にホームステイをしながら、総合管理学部秋山教授の「日本経済」に関する講義や、日本語教授法・馬場研究室の大学院生による「日本語」講義を受けた。研修団は祥明女子大短期日語日文学科3年生で構成されており、



祥明女子大短期研修団文楽視察での1コマ

1996年度入試について

平成7年6月13日、県庁県政記者室において1996年度入試の概要を発表した。

一般選抜については出願受付が平成8年1月22日(月)～1月31日(水)、試験日が前期は2月25日(日)、後期が3月12日(火)、試験科目等については別表のとおり。昨年度からの変更点は①英語英米文学科の前期二次試験の配点を300点から200点に変更 ②総合管理学科前期の募集人員を80人から100人に、後期A方式の募集人員を70人から50人に変更 ③総合管理学科の二次試験の小論文に「英文資料の読解を含む。」と付記したことの3点。

特別選抜においては、推薦・社会人・帰国子女は出願期間が平成7年11月6日(月)～11月10日(金)、試験日は12月9日(土)、合格発表が12月18日(月)、私費外国人留学生は出願期間が平成8

普段から日本について勉強しており、熱心に受講していた。講義以外には週末を利用して阿蘇視察や清和文楽鑑賞をしたり、ホストファミリーと水前寺公園やカラオケへ行ったり、花火をしたりと日本の文化や生活を楽しみ、帰国していった。

本学学生と留学生との交流会

学生で構成される国際交流会では、今年も県内の留学生との交流会を実施した。夏休みを利用して7月12・13日の両日人吉市のクラフトパーク視察や球磨川下りを体験し、ディスカッション等を通して交流を深めた。

参加したのは食物栄養学科2年の太田さんを委員長とする本学国際交流会14人と、本学・熊大・尚綱大から東南アジアを中心とした9カ国の留学生21人に引率として本学国際交流委員の文学部馬場助教授、事務局担当の計39人。2日間に渡り「各国の遊びについて」「結婚について」でディスカッションを行い、各国間の習慣や考え方などの違いや共通点について話し合い、国や大

学を越えた交流を楽しんだ。



交流会クラフトパークで

アジア フォーラム in 熊本

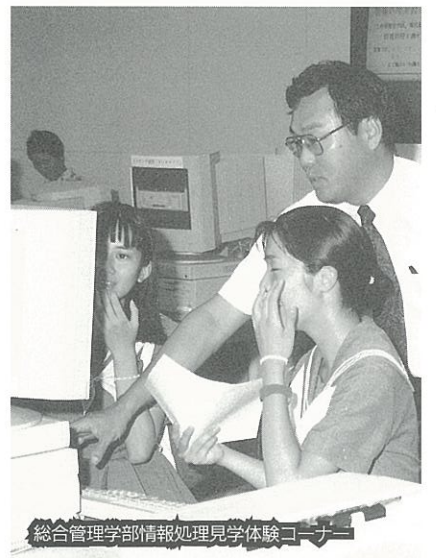
～一つの社会、多様な文化

アジア・オセアニアの12カ国と地域から44人の大学生が来日、熊本で学生宅にホームステイをし、学生と一緒にアジアの将来について討論した。今回は本学と熊本大学、熊本学園大学の3大学が参加しており、本学からは総合管理学部黄在南(ファンゼナン)講師が「共に働くために」というテーマでの学生討論のコーディネーターを務めた。また、同講師のゼミを中心に全4つのテーマについて本学学生が多数参加、ホストファミリーも務めるなど、有意義な交流を深めた。

年1月22日(月)～1月26日(金)、試験日は2月16日(金)、合格発表が3月6日(水)で、昨年度からの主な変更点は、①文学部の推薦入試において学科試験を廃止し小論文を課す ②総合管理学部の推薦入試においては小論文について「資料の一部として、基礎的な英語を含むこともある。」と付記した ③総合管理学部の推薦の条件を他学科と同様の条件に変更したことの3点。また、この入試概要より詳しい説明と大学案内を兼ねて、平成7年度の「熊本県立大学オープンキャンパス」を、8月4日(金)本学において開催し、約700人(高校生、保護者、先生等)が参加した。

参加者をそれぞれが希望する文学部、生活科学部、総合管理学部の3学部に分けて、平成7年度入学者選抜の結果、平成8年度入学者選抜の概要、卒業生の就職状況や各学科の紹介、さらに大学施設の案内等をそれぞれの学部の教

員が行った。特に生活科学部では、鈴木公助教授が「模擬授業」を行い、生徒たちは熱心に講義を受けていた。また、参加者は学生食堂で昼食をとり、キャンパスライフの一端を体験した。



総合管理学部情報処理見学体験コーナー

平成8年度熊本県立大学入学者選抜の実施教科・科目等について

入学志願者に解答させる 学部・学科名 教科・科目名等	選抜の対象	大学入試センター試験で 入学志願者に解答させる教科・科目名	個別学力検査等 の教科・科目等	その他
文学部 日本語 日本文学科	一般選抜 [前期日程]	[3教科3科目] 国/外(英・独・仏から1)/社(倫、日、世、地理、現社から1)・数(数I)・理(物、化、生、地学、理から1)から1	課さない	定員(40人) のうち6人
	一般選抜 [後期日程]	[3教科3科目] 国/外(英・独・仏から1)/社(倫、日、世、地理、現社から1)・数(数I)・理(物、化、生、地学、理から1)から1	国語I・国語II	定員(40人) のうち30人
	推薦入学	課さない	小論文・面接	定員(40人)のうち4人 卒業見込の県内生のみ 1校1名
英語 英米文学科	一般選抜 [前期日程]	[3教科3科目] 国/外(英)/社(倫、日、世、地理、現社から1)・数(数I)・理(物、化、生、地学、理から1)から1	英語II・英語II B・英語II C	定員(40人) のうち6人
	一般選抜 [後期日程]	[3教科3科目] 国/外(英)/社(倫、日、世、地理、現社から1)・数(数I)・理(物、化、生、地学、理から1)から1	英語II(ヒアリングを含む) 英語II B・英語II C	定員(40人) のうち30人
	推薦入学	課さない	小論文(英文資料の読解を含む) 面接(英語による簡単な面接を含む)	定員(40人)のうち4人 卒業見込の県内生のみ 1校1名
生活科学部	一般選抜 [前期日程]	[5教科5科目] 国・社(倫、日、世、地理、現社から1)・数(数I)・理(物、化、生、地学、理から1)・外(英・独・仏から1)	小論文	定員(40人) のうち10人
食物栄養学科	一般選抜 [後期日程]	[5教科5科目] 国・社(倫、日、世、地理、現社から1)・数(数I)・理(物、化、生、地学、理から1)・外(英・独・仏から1)	化学、生物のうちから 1科目を選択	定員(40人) のうち24人
	推薦入学	課さない	化学(普通科、理数科) 理科I、英語(生活科学に関連する学科 (食物系)) / 面接	定員(40人)のうち6人 卒業見込の県内生のみ 1校1名
生活環境学科	一般選抜 [前期日程]	[5教科6科目] 国・社(倫、日、世、地理、現社から1)・数(数I、数II)・理(物、化、生、地学、理から1)・外(英・独・仏から1)	数学(代数幾何・基礎解析)	定員(40人) のうち30人
	一般選抜 [後期日程]	[5教科6科目] 国・社(倫、日、世、地理、現社から1)・数(数I、数II)・理(物、化、生、地学、理から1)・外(英・独・仏から1)	課さない	定員(40人) のうち10人
総合管理学部	一般選抜 [前期日程]	[3教科3科目] 外(英・独・仏から1)/国・社(倫、日、世、地理、現社から1)・数(数I、数II、工、簿から1)・理(物、化、生、地学、理から1)から2教科2科目	課さない	定員(280人) のうち100人
総合管理学科	一般選抜 [後期日程] A方式	[5教科6科目] 国・社(倫、日、世、地理、現社から1)・数(数I及び数II、工、簿から1の2科目)・理(物、化、生、地学、理から1)・外(英・独・仏から1)	小論文(英文資料の 読解を含む。)	定員(280人) のうち50人
	一般選抜 [後期日程] B方式	[3教科3科目] 国・外(英・独・仏から1)・社(倫、日、世、地理、現社から1)	小論文(英文資料の 読解を含む。)	定員(280人) のうち50人
	一般選抜 [後期日程] C方式	[3教科4科目] 外(英・独・仏から1)・数(数I及び数II、工、簿から1の2科目)・理(物、化、生、地学、理から1)	小論文(英文資料の 読解を含む。)	定員(280人) のうち30人
	推薦入学	課さない	小論文(資料の一部として、基礎的な 英語を含むこともある。) 面接	定員(280人)のうち50人 卒業見込の県内生のみ 1校2名以内

人事異動

【訃報】

文学部・山本昌央(やまもとよしひさ)助教授(50歳)におかれては、8月12日急性虚血性心疾患のため死去されました。ご冥福をお祈りします。



【人事異動について】

氏名 ①職名 ②専門 ③月日

退任

■事務局

くにつ ひでとし

国津 英愛 ①事務局長 ③9月11日
(熊本県監査員就任)

就任

■事務局

うえだ りゅうすけ

上田 龍介 ①事務局長 ③9月12日

採用

■総合管理学部

あかまつ ひでたけ

赤松 秀岳

①教授 ②民法原論 ③10月1日

■外国語教育センター

ジュルソー センドリーヌ

Gellusseau, Cendrine

①国際交流員 ②フランス語 ③7月31日

夏期講座開講

平成7年度外国語教育センター夏期講座

熊本県立大学外国語教育センターの平成7年度中学校・高等学校英語教員向け夏期講座が開講された。この講座は、熊本県内の中学校及び高等学校の英語教員への再教育と自己研修を通して、国際化社会を迎えた中で中高生の英語運用能力の向上を図るために開かれるもので、外国語教育センターの独

自事業の一つとして、平成3年から始まった。

今年で5年目を迎える本講座は、8月中旬から2回に分けて行われた。県内の中・高校教員から希望者を募り参加者は18人。講座開設以来延べ受講者数も100人を超え、語学学習の最新機器を十分活用し、受講者の関心のあるテーマを用意して工夫されたカリキュラムのもと、年々充実したものに

なっている。今後さらに県内の英語教員の積極的な参加が待たれるものである。



サークル紹介

●合唱団

学内を歩いていると、時折爽やかな歌声が響いてくることがある。そんな時、しばし足を止めて聴いていたくなる。部屋の中をのぞくと十数人がピアノに合わせて練習しているところだった。

合唱団は、平日は2時間、土曜日と強化練習時は4～5時間の練習をこなしている。4月からは熊本県合唱祭へ向けて練習をはじめ、それが終わると8月に県立劇場で開催される青少年音楽フェスティバルのための練習に入る。また、毎年定期演奏会も開催しており、今年で50回を数える。さらにその合間をぬって小学校を訪問し交流を深めている。今後も伝統ある合唱団のますますの活躍に期待する。

合唱団は熊本大学合唱団と合同で活動しており、現部員は約50人(本学14人)。歌に遊びに充実した日々を送っています。今年が創立50年という節目の年で、来る11月23日には創立50周年記念演奏会を熊本県立劇場にて行います。皆さん是非聴きにきて下さい。



●マンドリン

楽器を使うサークルの一つにマンドリンクラブがある。マンドリンは音色を聴いていると自然と心がやすらいでくる不思議な楽器だ。現在マンドリンクラブは週2回のペースで練習を行っている。主な活動としては県立劇場で行う熊本大学との合同演奏会があり、他に年に数回、様々な団体や機関からの演奏依頼を受けている。ただ残念なのは、このサークルの演奏を学内でなかなか聴けないこと。日々の練習の成果を白亜祭の時にでも発表してもらえよう願いたい。

マンドリンは、どの世代にも受け入れられる楽器だ。いろいろな人に聴いてもらって、マンドリンファンをもっともっと増やしてもらいたい。



●野球同好会全国大会出場

8月4日(金)～7日(月)にかけて第12回全国大学軟式野球大会が開催され、本学の野球同好会が出場した。この出場は、日頃の活動やこれまでの戦績が評価され、南九州大学リーグの推薦により決定されたものである。

大会では5日(土)に一回戦を行い、神奈川リーグ代表の産能大学と対戦し、立ち上がりは互角だったが、ミスも手伝って1-8のスコアで敗れた。試合後に流した涙は、一生忘れられないものになることだろう。

今回敗れはしたものの、1年足らずで全国大会に出場を果たし、全国のレベルの高さを身をもって経験したことは貴重であり、新たな目標が設定されたことだろう。

最後に、各サークルが切磋琢磨し、より一層活動が活発化することを期待したい。

メッセージコーナー

ネットワーク運営組織から

ネットワーク運営組織では、実習室以外での学習のために、ノート型パソコンを貸し出しています。ノート型パソコンは、PC9801NX/Cが50台とFMV-Bibloが10台あり、中央コンピュータ室で貸し出し手続きを行っています。貸し出しは原則的に1泊2日です。

詳しくは、中央コンピュータ室(内線604)かnetrun@skylark.pu-kumamoto.ac.jpまで。

図書館から

公費による助成を受けて出版された図書を集めた「出版助成図書コーナー」が設置されました。場所は図書館2階南側(紫苑会文庫の隣り)です。

また、視聴覚コーナーで利用できる

新着のレーザーディスクで、映画関係が充実しました。どうぞご利用下さい。

新・着・紹・介

クリフハンガー、ゴースト/ニューヨークの幻、ジュラシックパーク、ローマの休日、雨に唄えば〈特別編〉、大脱走、グランブルー〈完全版/ワイド〉、その他

熊本県立大学の主な行事
(H 7. 9. ~ H 8. 1.)

- 9月 11日 授業再開
19日 地域講演会 (龍ヶ岳町)
20日 前期試験 (~29日)
25日 ポールバーグ氏講演会申込受付 (~10月13日)
- 10月 2日 公務員対策講座開講式
スポーツ教室申込受付 (~13日)
上旬 公務員ガイダンス
下旬 スポーツ教室開講
16日 上野千鶴子氏講演会申込受付 (~27日)
就職ガイダンス
31日 ポールバーグ氏講演会
- 11月 初旬 第2グラウンド完成
上中旬 3年次進路面接 (第2回)
5日 地域講演会 (相良村)
11日 白亜祭 (~12日)
中旬 マスコミセミナー
17日 上野千鶴子氏講演会
27日 一般選抜募集要項公表
- 12月 2日 特別選抜試験 (~3日) *HL*
24日 冬季休業 (~1月9日)
- 9 1月 10日 授業再開
13日 センター試験 (~14日)
30日 後期試験 (~2月9日)



熊本県立大学